

# アクセスマップ



- **JR千葉駅から**  
JR 千葉駅東口・7番バス乗り場から、京成バス「千葉大学病院」または、「千葉大学病院経由南矢作」行きに乗車、「千葉大学病院」で下車。(所要時間約15分)
- **JR蘇我駅から**  
JR 蘇我駅東口・2番バス乗り場から、小湊バスまたは、千葉中央バス「大学病院」行きに乗車、「大学病院」で下車。(所要時間約15分)
- **京成電鉄千葉中央駅から**  
タクシーをご利用ください。(所要時間約10分)
- **お車で来られる方へ**  
本院駐車場は、駐車スペースに限りがありますのでなるべく電車やバスなどの公共交通機関をご利用ください。



詳しい情報は別紙パンフレットおよび眼科ホームページをご覧ください

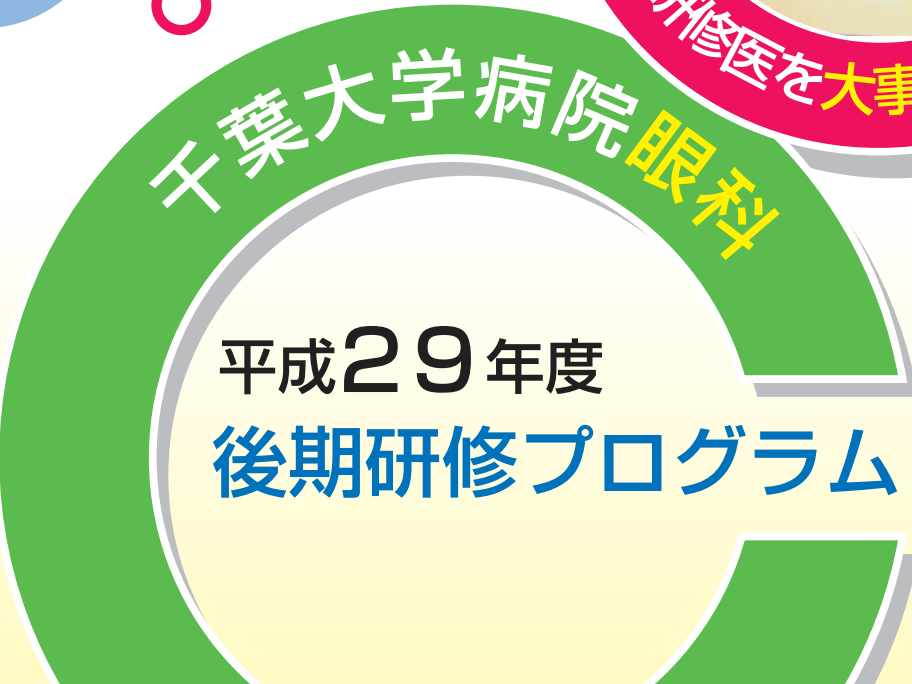
<http://www.m.chiba-u.ac.jp/class/gannka/>



CHIBA  
UNIVERSITY

## 千葉大学病院眼科

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1  
TEL: 043-222-7171 (代表)  
研修チーフ 横内裕敬 までお問い合わせください。



# 平成29年度 後期研修プログラム



## ● 教授挨拶



千葉大学大学院医学研究院眼科学教授

山本 修一

現職：教授、病院長

略歴：1983年 千葉大学医学部卒業  
医学博士  
日本眼科学会指導医  
日本眼科学会専門医  
PDT 専門医

専門分野：網膜硝子体手術  
加齢黄斑変性  
糖尿病網膜症  
網膜色素変性

## 『最高水準の眼科医療を提供し、 より良好な視機能を守る』

これが千葉大学眼科のミッションです。このミッション達成のために、多くの若き眼科医たちが日々の研鑽に励んでいます。

専門性の高い眼科だからこそ、より高き頂を目指し、専門性を極める。そんなストイックな道もあれば、『町の目医者さん』として、広く社会の視力を守る道もあります。どちら道を進むにせよ、人々の視力を守るのには、私たち眼科医だけです。

硝子体手術で眼底を眺めるとき、私はいつも、その美しさに息をのみます。何度見ても見飽きることのない美しさ。そして、ただ美しいだけではありません。精密な視機能をも司っているのです。テクノロジーがどれほど発達しようとも、人類には再現不能な精緻な機能、視覚。

まさに、神のみが成し遂げられる『美』がそこにはあります。そんな『美』を守る、それが私たち眼科医の仕事です。

## 2016年 眼科医局説明会のご案内

日時 第1回 6月25日(土) PM 6:00 ~  
第2回 9月17日(土) PM 6:00 ~

会場 千葉大学医学部附属病院ひがし棟3階 眼科カンファレンスルーム

●説明会終了後、夕食会を予定しております

連絡先 研修チーム 横内 裕敬 E-mail: yokouchi123ninth@yahoo.co.jp

TEL: 043-222-7171 (内線 5324)

●ご参加予定の方は、メールにてご連絡ください

研修統括責任者：山本 修一



## 千葉大学病院は 生まれ変わりました！ より高度な医療と 快適な診療環境を提供！

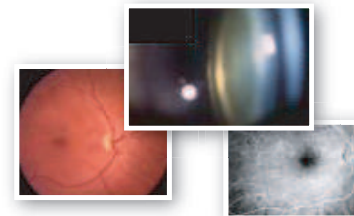
この数年間で病院がリニューアルしています。

寮・院内保育所・学童保育などの周辺環境も充実。2015年7月外来診療棟がフルオープンし、ホスピタルストリートなど開放感あふれるスペースで診療をしています。

## ● 年間約2000件の手術！千葉県は眼科医がとても少ない！

千葉県は対人口比では全国2番目に眼科医が少ない県で、千葉県県内はもとより周辺地域からも重症患者や原因不明の患者が毎日多数紹介されます。

関連病院も多数ありますが眼科医スタッフはまだまだ足りません。



## ● 指導スタッフの声



講師・医局長  
馬場 隆之

千葉大学医学部眼科学教室は明治15年(1882年)に発足し130年を迎える歴史ある教室です。視機能を健全に保つこと、障害された視機能を回復させること、また視覚障害者を補助することが我々の目的であり、臨床の第一線のレベルを保ちながらかつ研究の方面においても学会・論文等で活躍しています。

平成16年度より初期臨床研修制度が始まり、卒後3年目から専門医を取得するまでの後期臨床研修が重要な意味を持つようになってきました。当科では初期研修を終えて眼科専門医への道を選択しようとする医師に向けて、従来の研修プログラムを見直した後期臨床研修プログラムを用意しています。大学院進学による博士学位の取得や国内、海外留学も積極的に支援しています。



助教・研修チーム  
横内 裕敬

はじめまして研修担当の横内です。千葉大は、研究、教育もさることながら千葉県の眼科医療を担う病院でありcommon diseaseから珍しい疾患まで豊富な症例に溢れております。

実際に手術の件数も関東有数でありシニアレジデントから眼科の一員として様々な手術、手術を経験できます。山本教授の若手医師にどんどん手技の機会を与えるという方針の下、執刀の機会も多く与えられ、上級医の巧みなサポートの下手術に臨めます。スタッフも若手が多く気軽に相談しやすい雰囲気がありながら、それぞれに症例が割り当てられ眼科医として非常に満足度の高い研修がウリです。先ず、見学にきて頂き症例数の多さ、当科の雰囲気の良さを実感されたら一緒に働き、「オベのできる眼科医」を目指しましょう。

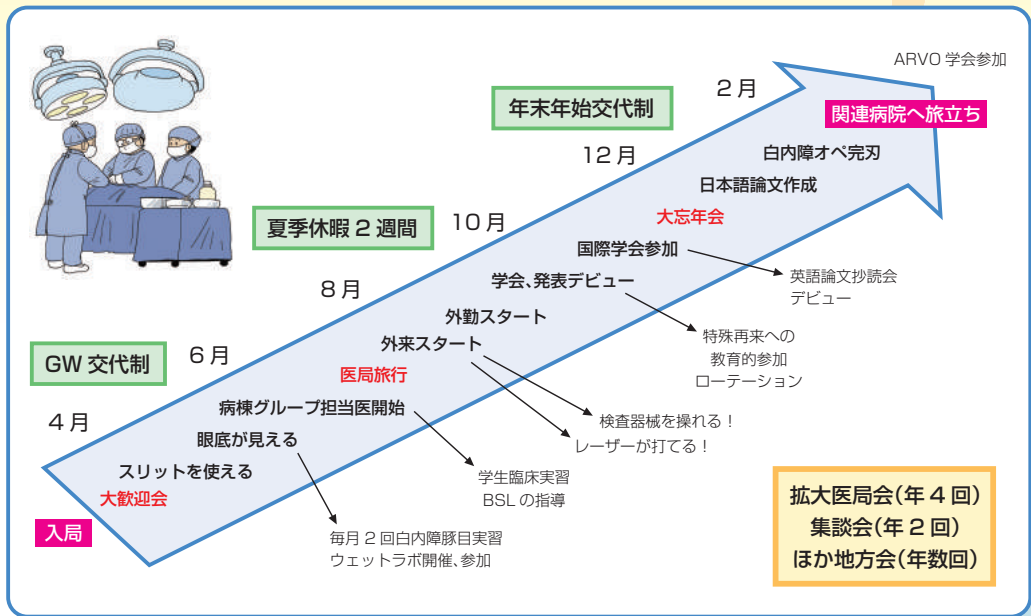


助教  
窪田 真理子

千葉大学眼科では女性医師のキャリアアップも積極的に応援しています。

医師としての研修が最も大事な時期に、女性医師は人生の大イベントである結婚・出産・育児を経験することになります。仕事との両立は並大抵のことではなく、精神論だけではどうにもならないことも多々あります。当科には、関連病院を含め、第一線で働き続ける女性医師がたくさんいるのも特徴です。私自身、眼科医となって18年、小学生と中学生の子供達2人を育てながら、お母さん医師として、時にがむしゃらに、時にセーブしながら、多少の波はあるものの何とか仕事を継続してきました。その時その時にできることを、できる範囲で頑張ってきました。

## ●シニアレジデント 充実の1年間

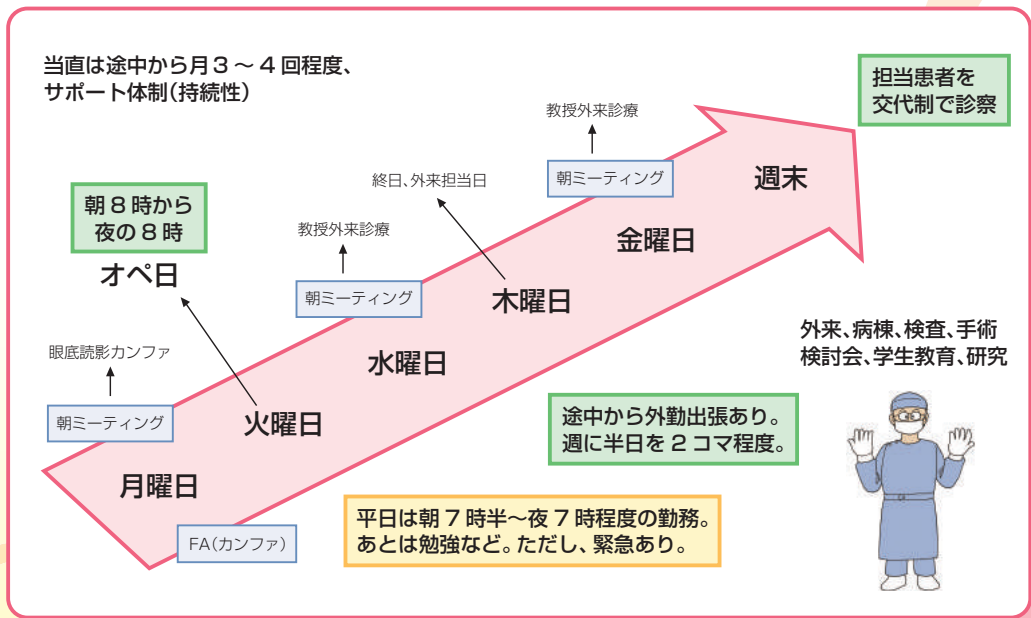


## ●指導スタッフと専門分野(助教以上)

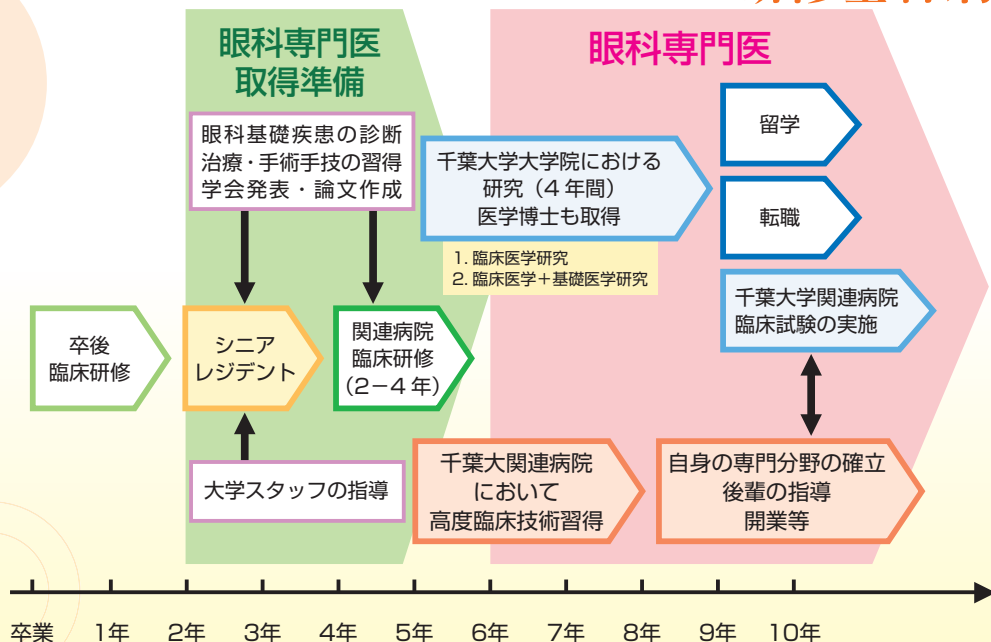
- 山本 修一 (教授、千葉大83卒) 網膜硝子体手術、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜色素変性
- 佐藤 栄寿 (講師、千葉大95卒) 網膜硝子体手術、網膜静脈閉塞症
- 忍足 俊幸 (講師、金沢大96卒) 糖尿病、緑内障、神経保護+再生、眼窩、神経眼科
- 馬場 隆之 (講師、東医歯大97卒) 網膜硝子体手術、加齢黄斑変性、強度近視
- 北橋 正康 (臨床講師、琉球大00卒) 網膜硝子体手術、加齢黄斑変性
- 窪田真理子 (助教、千葉大98卒) 網膜硝子体手術、加齢黄斑変性
- 横内 裕敬 (助教、千葉大01卒) 糖尿病網膜症、ぶどう膜
- 太和田彩子 (助教、千葉大01卒) 角膜、白内障手術
- 白戸 勝 (助教、東海大02卒) 緑内障、電気生理
- 辰巳 智章 (助教、千葉大02卒) 糖尿病網膜症、  
網膜硝子体手術、網膜剥離、白内障手術
- 三浦 玄 (臨床助教、東海大03卒) 白内障手術、網膜硝子体手術、網膜色素変性



## ●シニアレジデント 充実の1週間



## ●千葉大学眼科キャリアパス(新専門医制度) 研修基幹病院



## ● シニアレジデントからのメッセージ

### ● 安藤貴章 先生

平成 28 年度に入局いたしました安藤貴章と申します。札幌医科大学を卒業し、松戸市立病院での初期研修を経て、千葉大学医学部附属病院眼科学教室に参りました。

私は、父が眼科医であったということもあり、もともと眼科に興味を持っていたので初期研修 2 年目に選択させていただきました。臓器としては小さいものでありながら、人間が得る情報の 80%以上は視覚と言われるくらい重要なものであり、それを診察することのできる医師は眼科以外にはなかなかいません。そんな専門性の高いところも魅力の一つだと思います。

千葉大学の眼科学教室は千葉県中の症例が集うため、幅広く勉強することができ、眼科の道を選ぶなら最適だと思います。また医局の雰囲気も良く、自分のような眼科医 1 年目にも優しくかつ丁寧に指導して下さる上級医ばかりで、贅沢な職場で精進させていただいています。

少しでも興味がある方は一度見学にいらしてください。お待ちしております！



### ● 鈴木加奈子 先生

今年度千葉大学眼科学講座に入局いたしました鈴木加奈子と申します。出身は千葉市で、福島県立医大を卒業しました。初期研修を終え、4月から大学という新天地で眼科医としてのスタートを切り、慣れない仕事ながらも頑張っている最中です。

私が眼科に入局したきっかけは、他科に興味があった初期研修中に、よく併診をお願いする科としてローテートで眼科を選択した際、眼科という学問の面白さに興味をもちました。ですから、以前から眼科医になりたい、という志を持っていたわけではありませんが、現在は人の生活には欠くことのできない視覚を司る、小さいながらも奥深い眼球という臓器に魅了されています。また、眼科特有の最新の機器を使いながらの検査も魅力的ではありますが、歴史ある検査機器の精巧さや疾患特有の特徴を捕らえるためのその検査の原理を学ぶことは楽しく、なるほど、と思うこともしばしばあります。

現在働いている大学病院は男性の先生がほとんどでそれぞれのご専門に関して、優しく色々なことを教えてくださいました。また、女性の先生にはそれ以外にもライフプランのたて方など、先輩としてのお話も色々教えていただけました。

進路を考えている皆さん、進路決定は自分の興味のある分野であることに加え、一緒に働いて動きやすいかも重要だと思います。眼科に興味のある方はぜひ、一度見学に来てみてください。医局員一同でお待ちしております。

### ● 清水規宏 先生

皆さんはじめまして。

清水規宏と申します。千葉大学を卒業し、現在入局 2 年目として関連病院に勤務しています。特に実家が眼科なわけではありませんが（そもそも医者ですらないですが）、「人を幸せにできる科」としての魅力に惹かれ、眼科に入局しました。

その典型的な疾患が白内障です。

手術前は物の形も認識できないほどの視力だった患者さんが手術翌日には視力 1.0 にまでなるようなことにもしばしば出会います。

患者さんは「世界が変わった」と心の底から感謝の気持ちを伝えてくれます。

数多くの診療科がありますが、そんな感動的なシーンにしばしば出会える科はなかなかないと思い、眼科医の道を志しました。

そんな「幸せ請負人」、一緒に目指してみませんか？！本当にやりがいがありますよ！！



## ● 主な関連病院

すべて日本眼科学会の専門医制度研修指定病院。赤字は基幹病院で、常勤医 4 名以上で、硝子体手術などほとんどの眼疾患に対応可能。

- 千葉県 帝京大学ちば総合医療センター
- 成田赤十字病院
- 社会保険船橋中央病院
- 国立病院機構千葉医療センター
- 国保君津中央病院
- 国保松戸市立病院
- 千葉県こども病院
- 千葉労災病院
- 済生会習志野病院
- 千葉市立海浜病院
- 千葉市立青葉病院
- 国立病院機構千葉東病院
- 山王病院
- 井上記念病院
- 船橋市立医療センター
- 千葉メディカルセンター
- いすみ医療センター
- さんむ医療センター



## ● 研究および海外留学

- 1) 大学院生数 7名(2016年現在)
- 2) 臨床研究 網膜硝子体手術と視機能  
網膜疾患における治療法の検証  
網膜変性疾患の電気生理学的検討  
緑内障における形態および機能の検討
- 3) 基礎研究 糖尿病網膜症における血管新生因子の検討  
眼内血管新生疾患における VEGF-A165b の役割  
糖尿病網膜症における神経保護作用
- 4) 留学研修中あるいは大学院在学中でも留学(海外・国内)可  
海外：ヒューストン大学(視覚電気生理学)  
ハーバード大学(網膜の臨床)  
ジョンズホプキンス大学(眼内血管新生)  
国内：神戸理化学研究所(網膜再生)  
鳥取大学(角膜感染)

